



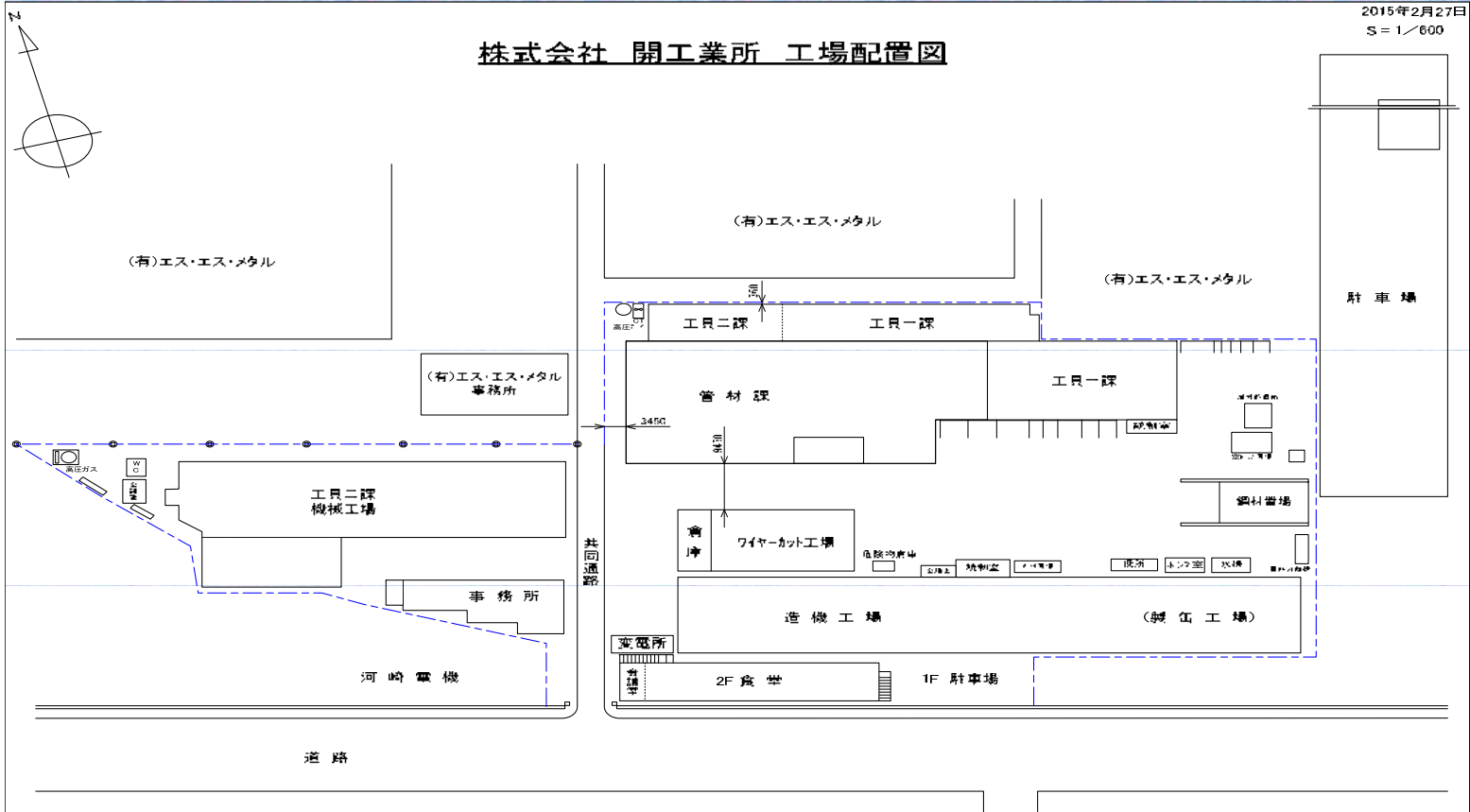
株式会社 開工業所 会社案内



会社概要

- 名称 株式会社 開工業所
- 所在地 山口県下関市長府港町7番15号
- 創業 昭和21年5月23日
- 設立 昭和23年5月23日
- 資本金 2,000万円
- 役員
 - ・代表取締役 開 憲二
 - ・取締役総務部長 橋本 啓司
 - ・取締役製造統括部長 河内 達雄
- 従業員数 103名 (2016. 3. 1現在)
- 工場敷地 14,000m²
- 建屋面積 5,731m²

株式会社 開工業所 工場配置図

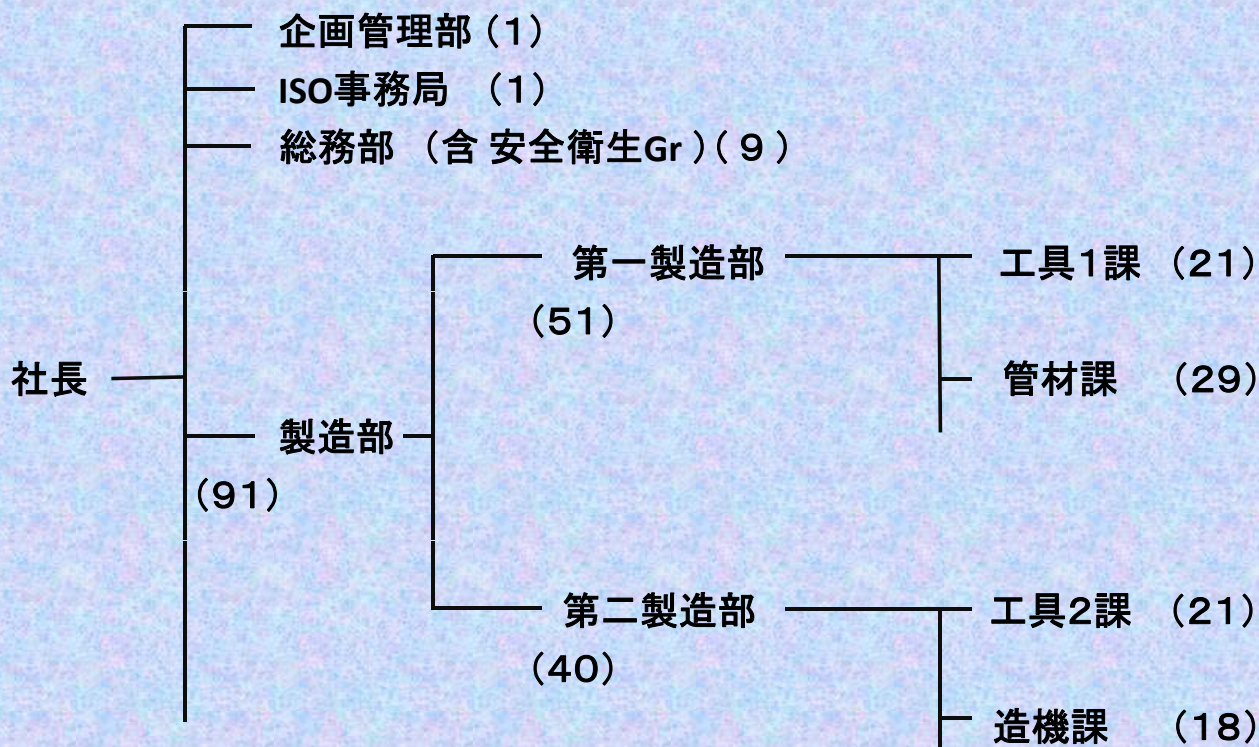


会社沿革

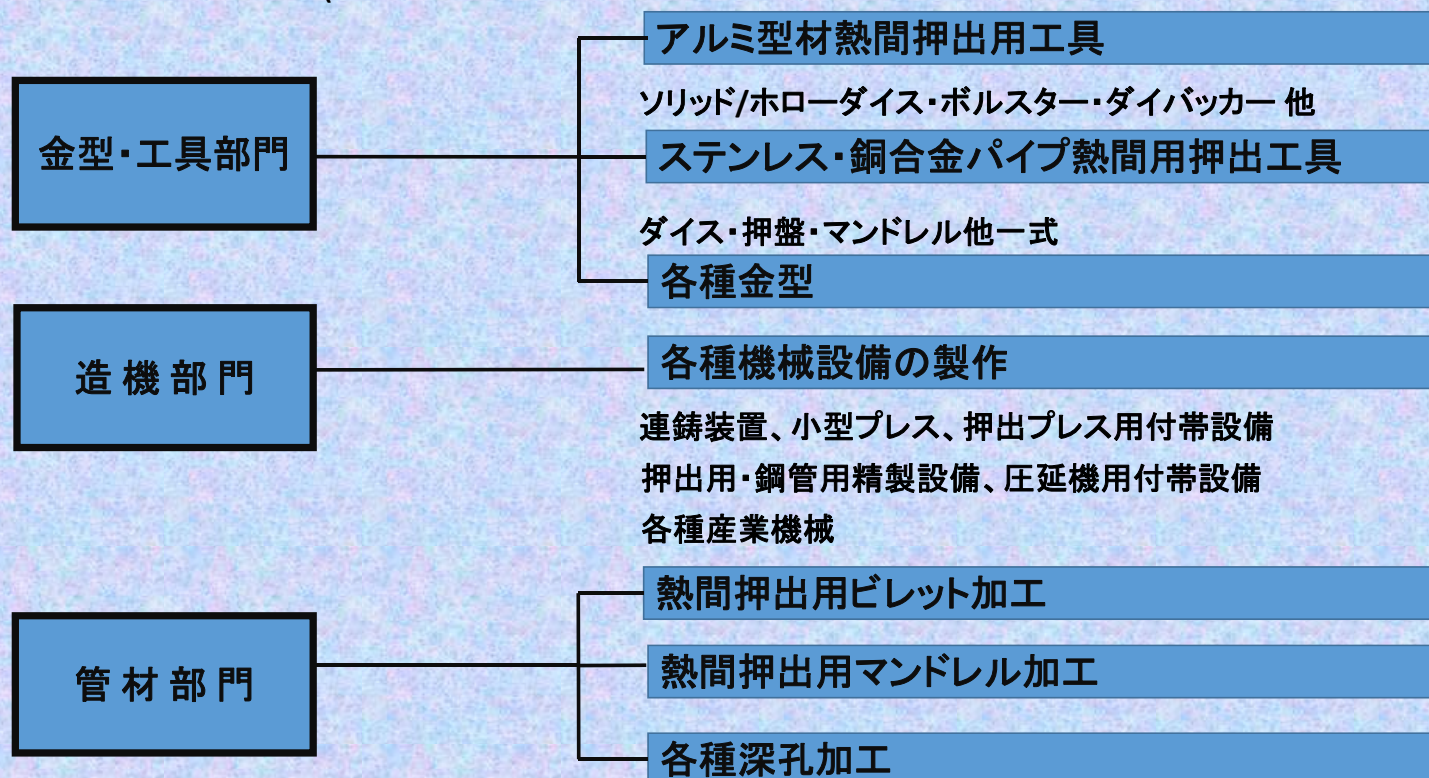
- 昭和21年 開溜、長府港町に「開工業所」を創立
- 23年 資本金95千円で「株式会社 開工業所」を設立し、機械設計、製作業務を開始
- 29年 引張矯正機等、アルミ製品の二次加工業務を開始
- 32年 アルミ押出金型、マンドレル等押出工具の製作およびステンレスピレットの加工開始
- 35年 事務所、設計室を新築、造機工場の増設
- 36年 金型、工具工場を増改築
- 43年 資本金を2,000万円に増資。金型、工具工場に放電加工機を導入
- 46年 管材工場を増築し造機工場の設備投資により増築
- 48年 金型熱処理工場を増築
- 49年 管材工場を増築

- 昭和63年 ワイヤーカット工場を新築
- 平成 元年 金型工場を増築
- 5年 全社消防用設備更新
- 6年 工具1課熱処理工場の合理化実施、電気炉および流動冷却層導入
- 18年 高速ガス冷却機横型真空炉導入
- 19年 工具1課熱処理工場2次合理化実施および駐車場用地購入 (564坪)
- 20年 経済産業省中小企業ものづくり300社を受賞
- 22年 ISO 9001 認証
- 25年 ISO 14001 認証
- 26年 駐車場隣接土地追加購入(443坪)、工場スペース確保のため、テント倉庫新築
- 27年 マシニングセンター 2機導入
- 28年 ワイヤーカット放電加工機 1機導入

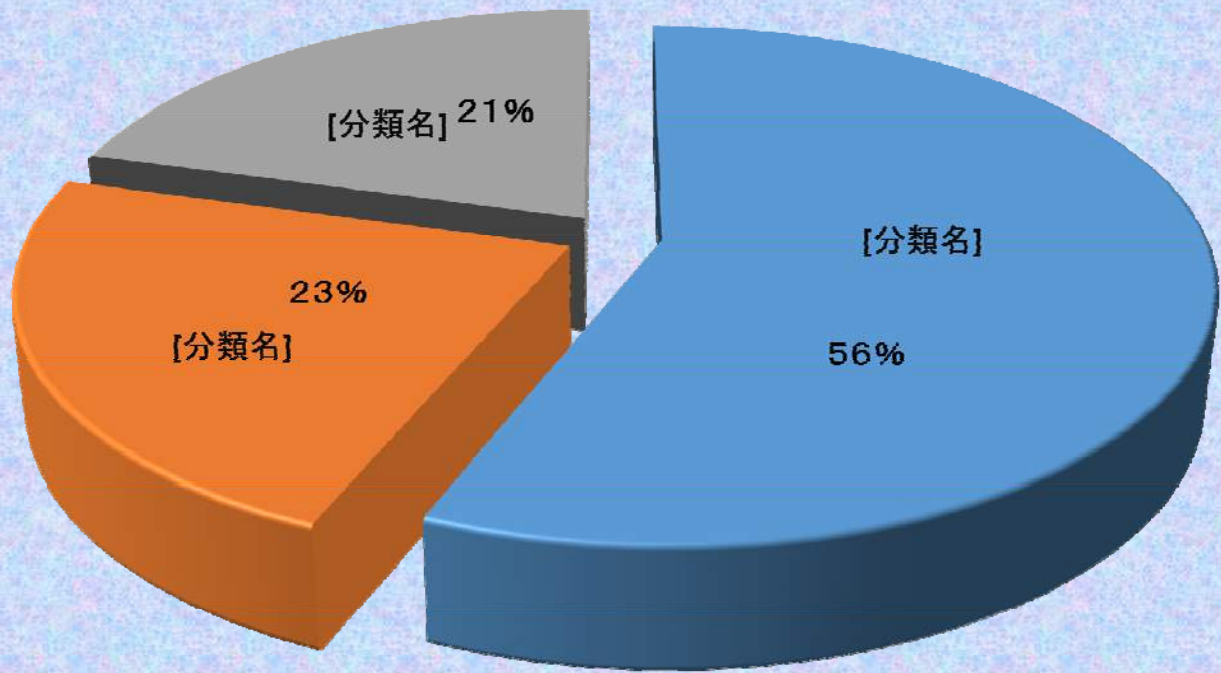
● 組織 (2016.3.1 現在103名)



部門別主業務 (三本の矢)



部門別売上げ比率（2014年度）



■ 金型・工具部門



■ 造機部門



■ 管材部門



■主要お取引先（敬称略）

株式会社 神戸製鋼所
神鋼特殊鋼管 株式会社
神鋼メタルプロダクツ 株式会社
株式会社 コベルコマテリアル銅管
YKK AP 株式会社
新日鉄住金 株式会社
山陽特殊製鋼 株式会社
軽合金押出開発 株式会社
日本高周波鋼業 株式会社
宇部興産機械 株式会社
株式会社 安川電機
和伸工業 株式会社 (含VWA)
日本モールド 株式会社

SMC 株式会社
KMアルミニウム 株式会社
三菱重工業 株式会社
豊通マテリアル 株式会社
水谷精機 株式会社
日立金属工具鋼 株式会社
ウメク 株式会社
株式会社 カムス
サンエツ金属 株式会社
日本伸銅 株式会社
日本プスネス 株式会社
安田金属工業 株式会社
その他

■会社方針

2015年度

『基本の定着～発想の転換』の必要性を考えて行動する

■下期

『基本』をキーワードとして全てに展開する

■行動指針

全社員が一丸となって、過去の経緯の種々の課題を確実に解決し、将来に備える

株式会社開工業所

安全衛生活動の軌跡



セーフティフロア活動

2008年1月～12月

PART1

2009年1月～12月31日

PART2

- (内容) ひざ下30センチから床面を見た時、リスクが沢山潜んでいる。
全社員全員参加で工場のフラット化、危険個所の見える化、
工場外の路面フラット化を進めた。
また、予算計上が必要な箇所は、残留リスクとした。
安全衛生環境設備として年間を通じて計画し工事完了を行った。
この活動にて『モノの置き方』を見直す契機となった。



ショート3S活動

2010年1月～12月31日

- (内容) ショートとは単純に『短い』という意味を表すが、当社では『手短に』『すぐに』という意味を表した。
- よく、『一作業、ひと片づけ』と躰を徹底して行った。
- 最終的に3年間に渡り、根気強く指導を続けた。



MUST3S活動

2013年1月～2014年5月31日

- (内容) MUST・・・そのまま訳した状態。『～ねばならない』を安全衛生に置き換え『あるべき姿』を想像し、気付き、目配り、心配りを行い本来の安全で安心して働ける職場造りを行った。
- この活動は、2013年12月31日で終了する予定であったが、全員の意識が合格レベルに達していなかった為、2014年5月31日まで延長した。



セーフティフロア活動Ⅱ

2014年6月～2016年5月31日

- (内容) 2008年から全社活動として改め、スタートをした時の初心を忘れずに再度、自職場、工場全域を含め、本当に安心して働ける場所になっているか再検討を行い、残留リスクの低減を実施した。



志職場を目指す安心職場の確立

2016年6月1日～

- (内容) 全員参加の安全衛生活動を行い、『職場から災害を出さない』という『志』をもち、『自職場の安全衛生活動宣言』を必ずやりとげる。相互注意を行える職場風土を再構築し、『ゼロ災害の継続の再挑戦』とする。



記

2012.11 安全衛生のひろば

(株)開工業所 代表取締役 開 憲二

中小企業の安全衛生 はじめの一步 第11回に

”生産環境の充実を図る安全衛生活動”の記事を書く

2013.6.13 中小規模事業場労働安全衛生評価登録事業場名簿登録(日本で第一号)

2013.11.1 第72回全国産業安全衛生大会in大阪で”「見える化」で育てる安全改善活動

～ベクトルの統一～”を報告

2016.5.30 中小規模事業場労働安全衛生評価(チャレンジ評価)登録事業場名簿登録の更新(日本で第一号)



認 証

中央労働災害防止協会

GSC 2013年6月13日 認証登録

2016年5月30日 更新登録

いずれも、日本で一番に認証に際し、今までの安全衛生活動が
実を結んだものであるが、今後も『一人の100歩』ではなく、
『全員の1歩』にて歩み続けたい。